

(3) 就業について

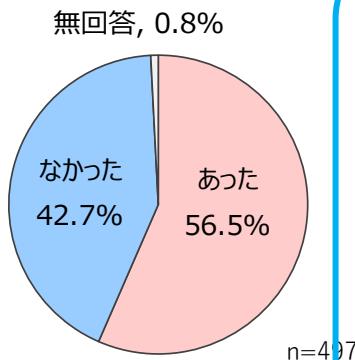
① コロナ禍による働き方への影響（問 7、問 7-(2)・複数回答、問 7-(3)）

新型コロナウイルス感染症拡大により、働き方に影響があった人は 56.5%（281 人）にのぼった。母子・父子家庭別にみると、母子家庭では影響が「あった」と回答した人が 54.6%だったのに対し、父子家庭では 75.6%と高かった。

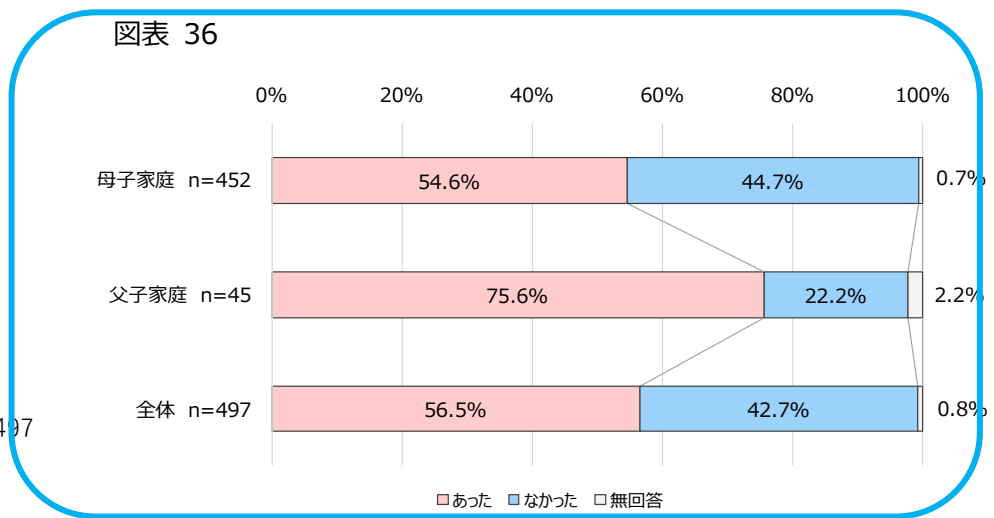
具体的な影響については「収入の低下」72.2%（203 人）と「契約期間満了、又は解雇」10.3%（29 人）を合わせると、82.5%となり、家計への影響があった家庭が多かった。また、母子・父子家庭共に「収入の低下」が最も高かったが、「雇用形態が在宅ワークに変更」が母子家庭で 13.4%だったのに対し、父子家庭では 17.6%と、若干高かった。

「その他」では、「休校や休園などで、仕事を休まざるを得なかった」と回答する人がいる一方、「業務や残業が増えた」と回答する人も複数みられた。

図表 35



図表 36



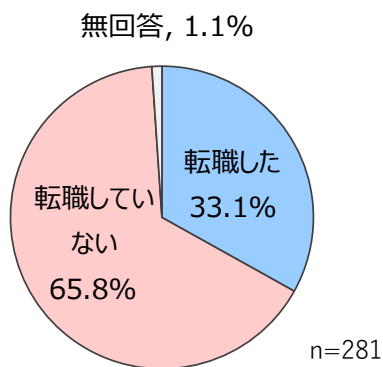
図表 37 働き方にどのような影響があったか（複数回答）

	n=281	全体	n=247	母子家庭	n=34	父子家庭
収入の低下	203	72.2%	179	72.5%	24	70.6%
契約期間満了、又は解雇	29	10.3%	27	10.9%	2	5.9%
雇用形態が在宅ワークに変更	39	13.9%	33	13.4%	6	17.6%
その他	49	17.4%	46	18.6%	3	8.8%

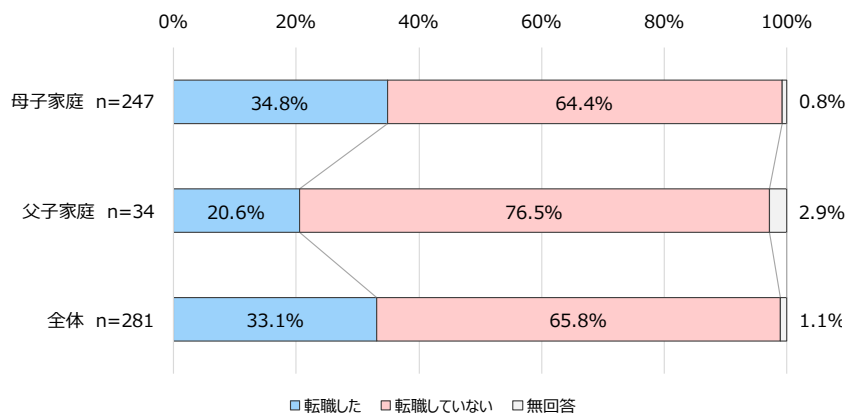
働き方に影響があって転職をした人は 33.1% (93 人) であり、転職していない人が 65.8% (185 人) を占めた。

母子・父子家庭別にみると、母子家庭では転職した人は 34.8% だったのに対し、父子家庭では 20.6% であった。

図表 38



図表 39

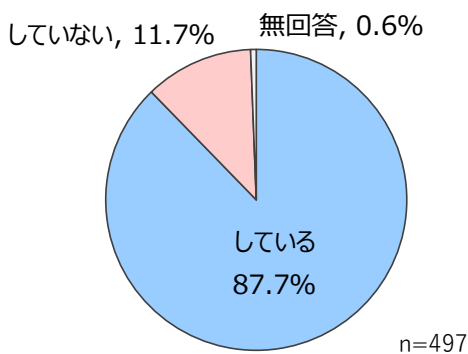


② 現在の就業の有無 (問 8)

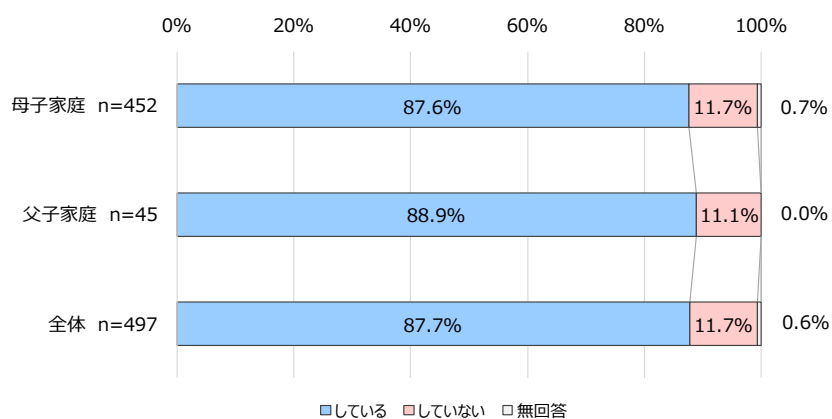
現在、収入を伴う仕事についている人は 87.7% (436 人) を占めた。

母子家庭、父子家庭ではそれぞれ 87.6%、88.9% で、大きな差は見られなかった。

図表 40



図表 41

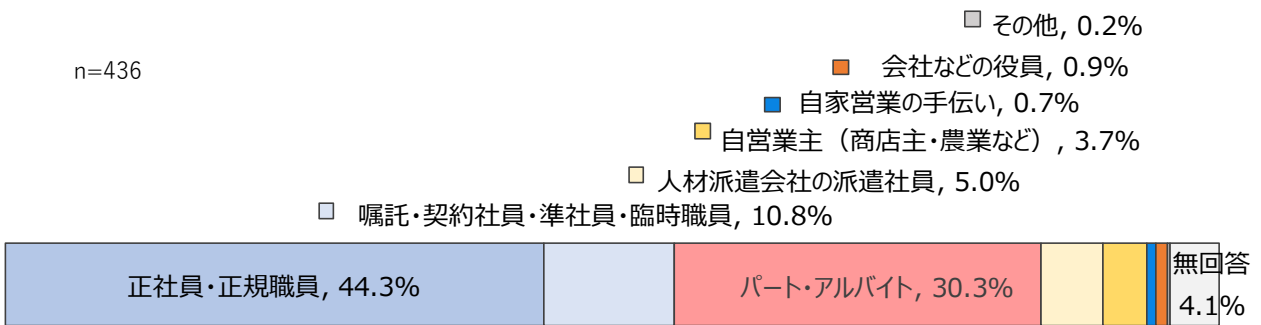


③ 就業形態（問 9、問 10）

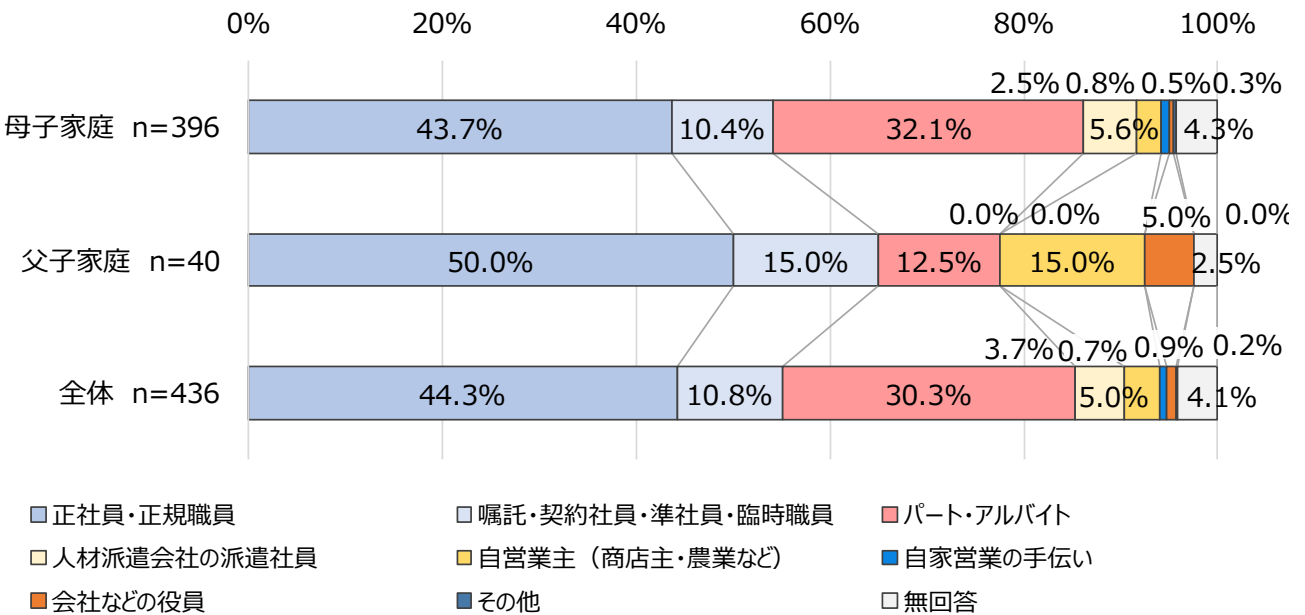
就業形態は、全体で「正社員・正規職員」が 44.3%（193 人）で最も多く、次に「パート・アルバイト」30.3%（132 人）、「嘱託・契約社員・準社員・臨時職員」10.8%（47 人）であった。

母子・父子家庭別にみると、父子家庭では「正社員・正規職員」が 50.0%（20 人）であるのに対し、「パート・アルバイト」は 12.5%（5 人）であり、全体との大きな違いが表れた。また、「自営業主（商店主・農業など）」も、母子家庭で 2.5%だったのに対し、父子家庭では 15.0%と高かった。

図表 42 現在の仕事の就労形態



図表 43



就業形態（問 9）と年収（問 28）の関係を見てみると、母子家庭では就労形態が「パート・アルバイト」が 32.0%と高く、そのグループの年収は、100 万～200 万円未満が 53.2%で最も多かった。

また、父子家庭では「正社員・正規職員」が 50.0%と最も多く、そのグループの年収は 300～400 万円未満が 30.0%と、最も高かった。（参考値）

図表 44

	総計	正社員・正規職員		嘱託・契約社員・		人材派遣会社の派遣社員		パート・アルバイト		自営業主	
全体	434	192	44.2%	47	10.8%	22	5.1%	131	30.2%	16	3.7%
100万円未満	27	7	3.6%	1	2.1%		0.0%	17	13.0%	1	6.3%
100～200万円未満	97	5	2.6%	8	17.0%	3	13.6%	68	51.9%	6	37.5%
200～300万円未満	128	57	29.7%	20	42.6%	13	59.1%	31	23.7%	2	12.5%
300～400万円未満	85	59	30.7%	11	23.4%	4	18.2%	4	3.1%	2	12.5%
400～500万円未満	46	36	18.8%	4	8.5%	1	4.5%		0.0%	3	18.8%
500～1000万円未満	21	20	10.4%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
1000万円以上	1	1	0.5%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
無回答	29	7	3.6%	3	6.4%	1	4.5%	11	8.4%	2	12.5%
母子家庭	394	172	43.7%	41	10.4%	22	5.6%	126	32.0%	10	2.5%
100万円未満	26	7	4.1%	1	2.4%		0.0%	16	12.7%	1	10.0%
100～200万円未満	95	5	2.9%	8	19.5%	3	13.6%	67	53.2%	5	50.0%
200～300万円未満	116	52	30.2%	16	39.0%	13	59.1%	29	23.0%	1	10.0%
300～400万円未満	76	53	30.8%	10	24.4%	4	18.2%	4	3.2%	1	10.0%
400～500万円未満	38	31	18.0%	3	7.3%	1	4.5%		0.0%	1	10.0%
500～1000万円未満	16	16	9.3%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
1000万円以上	1	1	0.6%		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
無回答	26	7	4.1%	3	7.3%	1	4.5%	10	7.9%	1	10.0%
父子家庭	40	20	50.0%	6	15.0%		0.0%	5	12.5%	6	15.0%
100万円未満	1		0.0%		0.0%			1	20.0%		0.0%
100～200万円未満	2		0.0%		0.0%			1	20.0%	1	16.7%
200～300万円未満	12	5	25.0%	4	66.7%			2	40.0%	1	16.7%
300～400万円未満	9	6	30.0%	1	16.7%				0.0%	1	16.7%
400～500万円未満	8	5	25.0%	1	16.7%				0.0%	2	33.3%
500～1000万円未満	5	4	20.0%		0.0%				0.0%		0.0%
無回答	3		0.0%		0.0%			1	20.0%	1	16.7%

	総計	自家営業の手伝い		会社などの役員		その他		無回答	
全体	434	3	0.7%	4	0.9%	1	0.2%	18	4.1%
100万円未満	27		0.0%		0.0%		0.0%	1	5.6%
100～200万円未満	97	1	33.3%	1	25.0%		0.0%	5	27.8%
200～300万円未満	128	1	33.3%		0.0%	1	100.0%	3	16.7%
300～400万円未満	85	1	33.3%	1	25.0%		0.0%	3	16.7%
400～500万円未満	46		0.0%		0.0%		0.0%	2	11.1%
500～1000万円未満	21		0.0%	1	25.0%		0.0%		0.0%
1000万円以上	1		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
無回答	29		0.0%	1	25.0%		0.0%	4	22.2%
母子家庭	394	3	0.8%	2	0.5%	1	0.3%	17	4.3%
100万円未満	26		0.0%		0.0%		0.0%	1	5.9%
100～200万円未満	95	1	33.3%	1	50.0%		0.0%	5	29.4%
200～300万円未満	116	1	33.3%		0.0%	1	100.0%	3	17.6%
300～400万円未満	76	1	33.3%	1	50.0%		0.0%	2	11.8%
400～500万円未満	38		0.0%		0.0%		0.0%	2	11.8%
500～1000万円未満	16		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
1000万円以上	1		0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
無回答	26		0.0%		0.0%		0.0%	4	23.5%
父子家庭	40		0.0%	2	5.0%		0.0%	1	2.5%
100万円未満	1				0.0%				0.0%
100～200万円未満	2				0.0%				0.0%
200～300万円未満	12				0.0%				0.0%
300～400万円未満	9				0.0%			1	100.0%
400～500万円未満	8				0.0%				0.0%
500～1000万円未満	5			1	50.0%				0.0%
無回答	3			1	50.0%				0.0%

現在の主な仕事の職種は、「事務的な仕事（一般事務、経理事務、医療事務など）」28.0%（122人）が最も多く、次に「専門知識・技術をいかした仕事（教員、看護師、保育士など）」20.2%（88人）、その他 10.3%（45人）と続いた。

（「その他」の職業は「看護助手、コールセンター、タクシードライバー」等。）

図表 45

	n=436	全体	n=396	母子家庭	n=40	父子家庭
事務的な仕事（一般事務、経理事務、医療事務など）	122	28.0%	117	29.5%	5	12.5%
専門知識・技術をいかした仕事（教員、看護師、保育士など）	88	20.2%	81	20.5%	7	17.5%
サービスの仕事・資格あり（理・美容師、ホームヘルパーなど）	41	9.4%	40	10.1%	1	2.5%
サービスの仕事・資格なし（飲食店員、ビル等管理人など）	41	9.4%	39	9.8%	2	5.0%
営業・販売の仕事（スーパー・デパート店員、外交員など）	40	9.2%	37	9.3%	3	7.5%
運搬、清掃、包装の仕事（配達員、ハウスクリーニング職など）	17	3.9%	11	2.8%	6	15.0%
生産工程の仕事（金属加工、食料品製造従事者など）	11	2.5%	9	2.3%	2	5.0%
管理的な仕事（企業・団体の課長、部長など）	8	1.8%	5	1.3%	3	7.5%
建設の仕事（大工、配管、電気従事者など）	5	1.1%	1	0.3%	4	10.0%
その他	45	10.3%	38	9.6%	7	17.5%
無回答	18	4.1%	18	4.5%	0	0.0%

現在の主な仕事の職種（問 10）と年収（問 28）の関係では、母子家庭では「事務的な仕事」が 29.7%と最も高く、その中では「200～300 万円未満」が 40.2%で最多であった。2 番目に多かった「専門知識・技術をいかした仕事」（20.6%）の中では、「300～400 万円未満」が最も多く 25.9%を占めた。

一方、父子家庭で多かった「専門知識・技術をいかした仕事」（17.5%）では、「200～300 万円未満」が 42.9%を占めた。（参考値）

図表 46

総計	専門知識・技術をいかした仕事 (教員、看護師、保育士など)		管理的な仕事（企業・団体の 課長、部長など）		事務的な仕事（一般事務、経 理事務、医療事務など）		営業・販売の仕事（スーパー・デ パート店員、外交員など）	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全体	434		8	1.8%	122	28.1%	40	9.2%
100万円未満	27	10.2%		0.0%	4	3.3%	3	7.5%
100～200万円未満	97	13.6%		0.0%	16	13.1%	12	30.0%
200～300万円未満	128	17.0%		0.0%	47	38.5%	13	32.5%
300～400万円未満	85	25.0%		0.0%	34	27.9%	7	17.5%
400～500万円未満	46	17.0%	3	37.5%	13	10.7%	2	5.0%
500～1000万円未満	21	11.4%	4	50.0%	2	1.6%	2	5.0%
1000万円以上	1	0.0%	1	12.5%		0.0%		0.0%
無回答	29	5.7%		0.0%	6	4.9%	1	2.5%
母子家庭	394		5	1.3%	117	29.7%	37	9.4%
100万円未満	26	9.9%		0.0%	4	3.4%	3	8.1%
100～200万円未満	95	14.8%		0.0%	16	13.7%	12	32.4%
200～300万円未満	116	14.8%		0.0%	47	40.2%	11	29.7%
300～400万円未満	76	25.9%		0.0%	32	27.4%	6	16.2%
400～500万円未満	38	18.5%	2	40.0%	11	9.4%	2	5.4%
500～1000万円未満	16	9.9%	2	40.0%	1	0.9%	2	5.4%
1000万円以上	1	0.0%	1	20.0%		0.0%		0.0%
無回答	26	6.2%		0.0%	6	5.1%	1	2.7%
父子家庭	40		3	7.5%	5	12.5%	3	7.5%
100万円未満	1	14.3%		0.0%		0.0%		0.0%
100～200万円未満	2	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%
200～300万円未満	12	42.9%		0.0%		0.0%	2	66.7%
300～400万円未満	9	14.3%		0.0%	2	40.0%	1	33.3%
400～500万円未満	8	0.0%	1	33.3%	2	40.0%		0.0%
500～1000万円未満	5	28.6%	2	66.7%	1	20.0%		0.0%
無回答	3	0.0%		0.0%		0.0%		0.0%

総計		サービスの仕事・資格あり（理・美容師、ホームヘルパーなど）	サービスの仕事・資格なし（飲食店員、ビル等管理人など）	運搬、清掃、包装の仕事（配達員、ハウスクリーニング職など）	建設の仕事（大工、配管、電気従事者など）
全体	434	41 9.4%	41 9.4%	16 3.7%	5 1.2%
100万円未満	27	2 4.9%	6 14.6%	1 6.3%	0 0.0%
100～200万円未満	97	14 34.1%	14 34.1%	4 25.0%	0 0.0%
200～300万円未満	128	15 36.6%	11 26.8%	5 31.3%	1 20.0%
300～400万円未満	85	5 12.2%	5 12.2%	2 12.5%	2 40.0%
400～500万円未満	46	2 4.9%	1 2.4%	2 12.5%	2 40.0%
500～1000万円未満	21	1 2.4%	1 2.4%	0 0.0%	0 0.0%
1000万円以上	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	29	2 4.9%	3 7.3%	2 12.5%	0 0.0%
母子家庭	394	40 10.2%	39 9.9%	10 2.5%	1 0.3%
100万円未満	26	2 5.0%	6 15.4%	1 10.0%	0 0.0%
100～200万円未満	95	14 35.0%	14 35.9%	4 40.0%	0 0.0%
200～300万円未満	116	15 37.5%	10 25.6%	3 30.0%	1 100.0%
300～400万円未満	76	4 10.0%	5 12.8%	1 10.0%	0 0.0%
400～500万円未満	38	2 5.0%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%
500～1000万円未満	16	1 2.5%	1 2.6%	0 0.0%	0 0.0%
1000万円以上	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	26	2 5.0%	2 5.1%	1 10.0%	0 0.0%
父子家庭	40	1 2.5%	2 5.0%	6 15.0%	4 10.0%
100万円未満	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
100～200万円未満	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
200～300万円未満	12	0 0.0%	1 50.0%	2 33.3%	0 0.0%
300～400万円未満	9	1 100.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 50.0%
400～500万円未満	8	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	2 50.0%
500～1000万円未満	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3	0 0.0%	1 50.0%	1 16.7%	0 0.0%

総計		生産工程の仕事（金属加工、食料品製造従事者など）	その他	無回答
全体	434	11 2.5%	44 10.1%	18 4.1%
100万円未満	27	0 0.0%	1 2.3%	1 5.6%
100～200万円未満	97	4 36.4%	15 34.1%	6 33.3%
200～300万円未満	128	3 27.3%	15 34.1%	3 16.7%
300～400万円未満	85	0 0.0%	6 13.6%	2 11.1%
400～500万円未満	46	2 18.2%	2 4.5%	2 11.1%
500～1000万円未満	21	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%
1000万円以上	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	29	2 18.2%	4 9.1%	4 22.2%
母子家庭	394	9 2.3%	37 9.4%	18 4.6%
100万円未満	26	0 0.0%	1 2.7%	1 5.6%
100～200万円未満	95	4 44.4%	13 35.1%	6 33.3%
200～300万円未満	116	2 22.2%	12 32.4%	3 16.7%
300～400万円未満	76	0 0.0%	5 13.5%	2 11.1%
400～500万円未満	38	1 11.1%	2 5.4%	2 11.1%
500～1000万円未満	16	0 0.0%	1 2.7%	0 0.0%
1000万円以上	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	26	2 22.2%	3 8.1%	4 22.2%
父子家庭	40	2 5.0%	7 17.5%	5 12.5%
100万円未満	1	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%
100～200万円未満	2	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%
200～300万円未満	12	1 50.0%	3 42.9%	0 0.0%
300～400万円未満	9	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
400～500万円未満	8	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
500～1000万円未満	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	3	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%

④ 勤務時間帯（問 11・複数回答）

仕事をしている時間帯は、「昼間（午前：8時～12時頃）」が85.3%（372人）、「昼間（午後：12時～17時頃）」が83.7%（365人）を占めた。次に「夕方～夜（17時～22時頃）」が29.6%（129人）であった。

母子家庭と父子家庭で比べると、父子家庭では「早朝（5時～8時頃）」が12.5%（5人）と、母子家庭よりやや多い傾向にある事が分かった。

図表 47 普段おこなっている仕事をしている時間帯（複数回答）

	n=436 全体	n=396 母子家庭	n=40 父子家庭
早朝（5時～8時頃）	35 8.0%	30 7.6%	5 12.5%
昼間（午前：8時～12時頃）	372 85.3%	341 86.1%	31 77.5%
昼間（午後：12時～17時頃）	365 83.7%	331 83.6%	34 85.0%
夕方～夜（17時～22時頃）	129 29.6%	117 29.5%	12 30.0%
深夜（22時～翌日5時頃）	23 5.3%	20 5.1%	3 7.5%
終日勤務（24時間勤務）	8 1.8%	7 1.8%	1 2.5%
無回答	26 6.0%	22 5.6%	4 10.0%

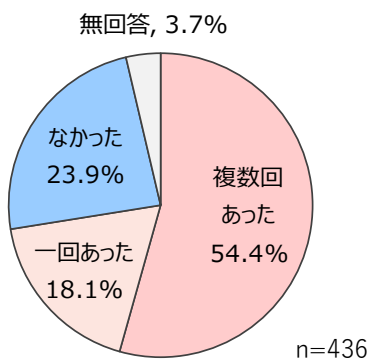
⑤ コロナによる休校休園による仕事への影響（問 12、問 12-(2)・複数回答）

本人や家族の感染、子どもが通う学校、保育園・幼稚園などの休校休園に伴い、仕事を休まざるを得なかった人*が全体の72.5%（316人）、内複数回あった人は過半数（54.4%/237人）を占めた。

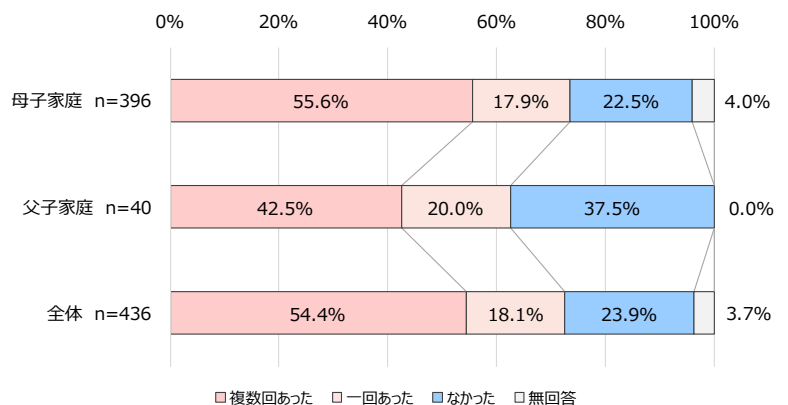
母子・父子家庭別にみると、仕事を休まざるを得ないときが「なかった」と回答した人は、母子家庭では22.5%だったのに対し、父子家庭では37.5%と高かった。

*「複数回あった」「一回あった」の合計

図表 48



図表 49



職場の対応は、「有給で休むことができた」が 45.3%（143 人）であったが、一方で「休むことはできたが無給だった」は 39.2%（124 人）であった。

また、「休むことに職場が協力的だった」は 47.8%（151 人）であったが、一方で「協力的ではなかった」も 9.5%（30 人）あった。

図表 50（複数回答）

	n=316 全体	n=291 母子家庭	n=25* 父子家庭
有給で休むことができた	143 45.3%	135 46.4%	8 32.0%
休むことはできたが無給だった	124 39.2%	116 39.9%	8 32.0%
休むことに職場が協力的だった	151 47.8%	141 48.5%	10 40.0%
休むことに職場が協力的ではなかった	30 9.5%	28 9.6%	2 8.0%

コロナ禍により、仕事を休まざるを得なくなったときの職場の対応を、就業形態別（問 9）に見たところ、「パート・アルバイト」と、「人材派遣会社の派遣社員」は「有給で休むことができた」と回答した割合が全体（45.3%）より低く、それぞれ 25.0%と 22.7%であった。

図表 51（複数回答）

	正社員・正規職員 193	嘱託・契約社員・ 準社員・臨時職員 47	パート・アルバイト 132
有給で休むことができた	86 44.6%	19 40.4%	33 25.0%
休むことはできたが無給だった	38 19.7%	12 25.5%	56 42.4%
休むことに職場が協力的だった	69 35.8%	18 38.3%	50 37.9%
休むことに職場が協力的ではなかった	15 7.8%	3 6.4%	8 6.1%

	人材派遣会社の 派遣社員 22	自営業主 (商店主・農業など) 16	自家営業の手伝い 3
有給で休むことができた	5 22.7%	0 0.0%	0 0.0%
休むことはできたが無給だった	6 27.3%	7 43.8%	0 0.0%
休むことに職場が協力的だった	9 40.9%	3 18.8%	2 66.7%
休むことに職場が協力的ではなかった	2 9.1%	2 12.5%	0 0.0%

	会社などの役員 4	その他 1	無回答 18
有給で休むことができた	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
休むことはできたが無給だった	3 75.0%	1 100.0%	1 5.6%
休むことに職場が協力的だった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
休むことに職場が協力的ではなかった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

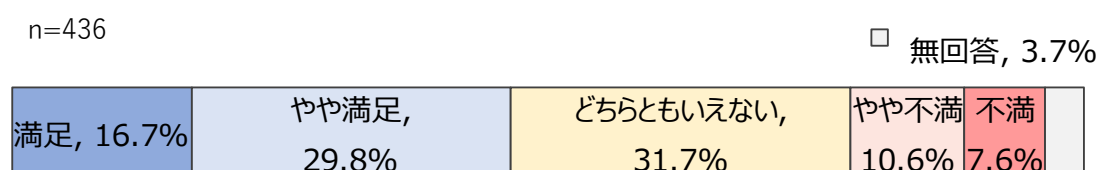
⑥ 現在の仕事に対する満足度（問 13）

現在のおもな仕事・職場に対する満足度は、「どちらともいえない」が 31.7%（138 人）で最も多い結果となったが、満足傾向※は 46.5%（203 人）となり、不満傾向※18.2%（79 人）を上回る結果となった。

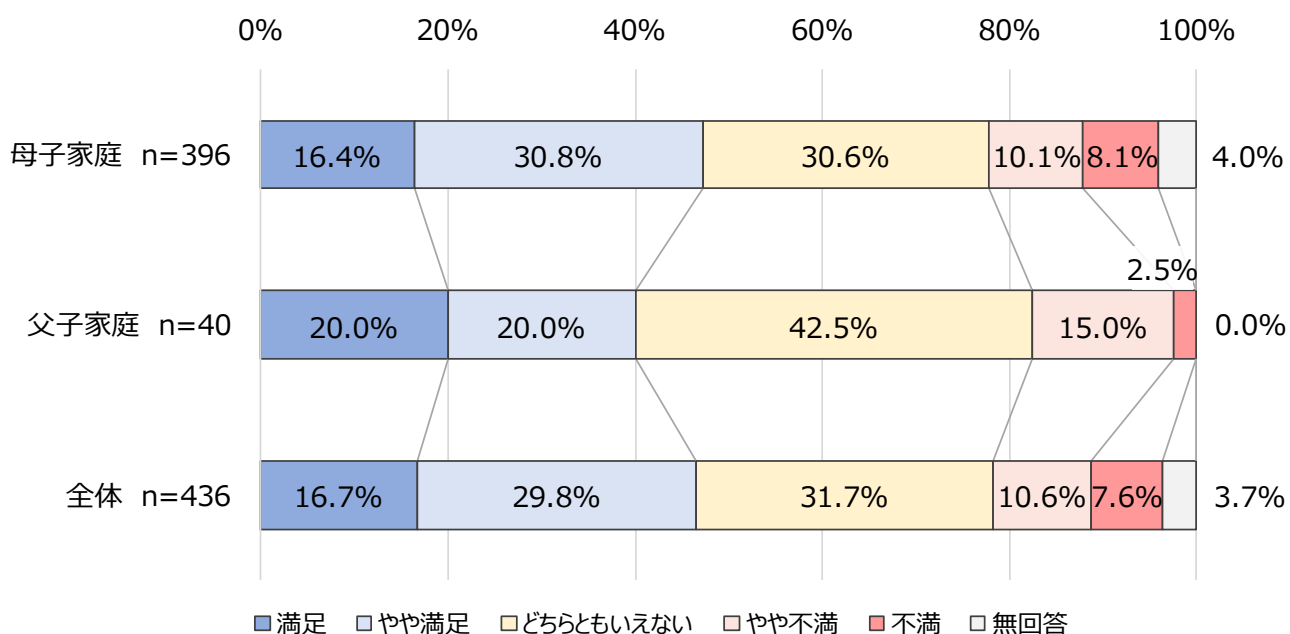
母子・父子家庭別にみると、満足傾向が母子家庭だと 47.2%なのに対し、父子家庭では 40.0%であった。一方で不満傾向は母子家庭では 18.2%、父子家庭では 17.5%だった。

※満足傾向は「満足」「やや満足」、不満傾向は「やや不満」「不満」の合計。

図表 52



図表 53

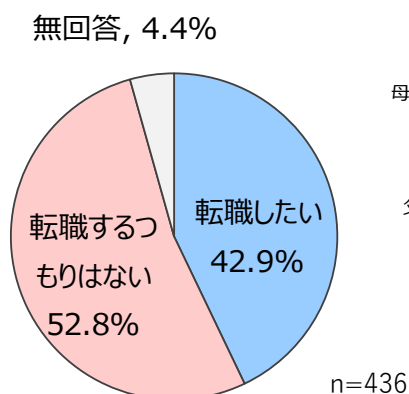


⑦ 転職希望（問 14）

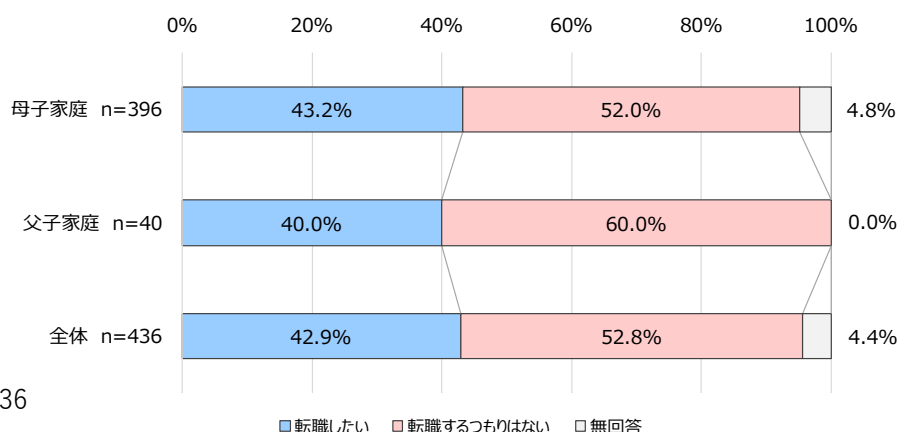
現在のおもな仕事の転職希望については、「転職するつもりはない」が過半数（52.8%/230人）をしめ、「転職したい」が42.9%（187人）であった。

母子・父子家庭別にみると、「転職するつもりはない」が父子家庭では60.0%だったのに対し、母子家庭では52.0%だった。

図表 54



図表 55



転職希望の有無を年収別（問 28）に見ると、「転職したい」の回答が300万円を境に、大きく減少し、200～300万円未満が33.9%なのに対し、次の300～400万円未満が15.1%と半分以下に減少する。

図表 56

	総数	転職したい		転職するつもりはない		無回答	
	434	186	42.9%	229	52.8%	19	4.4%
100万円未満	27	11	5.9%	15	6.6%	1	5.3%
100～200万円未満	97	53	28.5%	38	16.6%	6	31.6%
200～300万円未満	128	63	33.9%	62	27.1%	3	15.8%
300～400万円未満	85	28	15.1%	54	23.6%	3	15.8%
400～500万円未満	46	15	8.1%	29	12.7%	2	10.5%
500～1000万円未満	21	9	4.8%	12	5.2%	0	0.0%
1000万円以上	1	0	0.0%	1	0.4%	0	0.0%
無回答	29	7	3.8%	18	7.9%	4	21.1%

⑧ 現在の仕事・職場の良いところ（問 15・複数回答）

「転職するつもりはない」と回答した人に対して、現在の仕事・職場のよいところについて聞いたところ、「休暇が取りやすい」51.7%（119 人）、「厚生年金や雇用保険に入れる」46.5%（107 人）、「土日に休める」43.5%（100 人）、「雇用形態が安定している」40.9%（94 人）をあげている。

図表 57（複数回答）

	n=230	全体	n=206	母子家庭	n=24*	父子家庭
雇用形態が安定している	94	40.9%	85	41.3%	9	37.5%
休暇が取りやすい	119	51.7%	108	52.4%	11	45.8%
十分な収入が得られる	30	13.0%	28	13.6%	2	8.3%
土日に休める	100	43.5%	87	42.2%	13	54.2%
通勤時間が短い	83	36.1%	74	35.9%	9	37.5%
厚生年金や雇用保険に入れる	107	46.5%	101	49.0%	6	25.0%
在宅でできる	33	14.3%	27	13.1%	6	25.0%
経験や能力が発揮できる	68	29.6%	58	28.2%	10	41.7%
簡単な仕事である	13	5.7%	11	5.3%	2	8.3%
就業時間に融通がきく	64	27.8%	56	27.2%	8	33.3%
労働時間が短い	14	6.1%	11	5.3%	3	12.5%
技術・技能を身につけられる	35	15.2%	31	15.0%	4	16.7%
残業がない	44	19.1%	40	19.4%	4	16.7%
残業が少ない	51	22.2%	47	22.8%	4	16.7%
その他	16	7.0%	15	7.3%	1	4.2%

転職の際に重視する点（問 15・複数回答）

「転職したい」と回答した人に対して、新しい仕事・職場を選ぶ際に重視する点について聞いたところ、「十分な収入が得られる」が 78.6%（147 人）、「雇用形態が安定している」「休暇が取りやすい」が 67.9%（127 人）、「厚生年金や雇用保険に入れる」61.5%（115 人）となった。

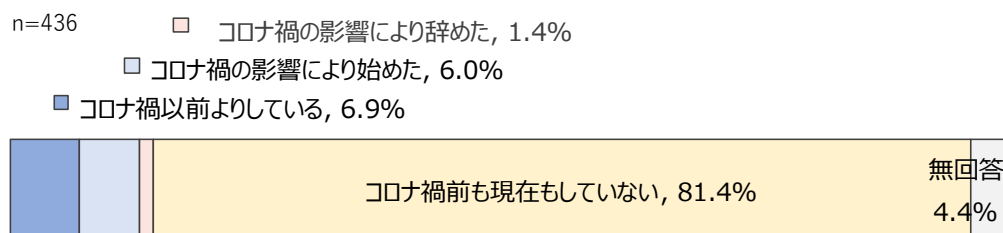
図表 58

	n=187	全体	n=171	母子家庭	n=16*	父子家庭
雇用形態が安定している	127	67.9%	118	69.0%	9	56.3%
休暇が取りやすい	127	67.9%	117	68.4%	10	62.5%
十分な収入が得られる	147	78.6%	137	80.1%	10	62.5%
土日に休める	103	55.1%	95	55.6%	8	50.0%
通勤時間が短い	95	50.8%	88	51.5%	7	43.8%
厚生年金や雇用保険に入れる	115	61.5%	104	60.8%	11	68.8%
在宅でできる	35	18.7%	33	19.3%	2	12.5%
経験や能力が発揮できる	47	25.1%	44	25.7%	3	18.8%
簡単な仕事である	17	9.1%	16	9.4%	1	6.3%
就業時間に融通がきく	83	44.4%	74	43.3%	9	56.3%
労働時間が短い	20	10.7%	19	11.1%	1	6.3%
技術・技能を身につけられる	42	22.5%	39	22.8%	3	18.8%
残業がない	52	27.8%	49	28.7%	3	18.8%
残業が少ない	59	31.6%	55	32.2%	4	25.0%
その他	2	1.1%	1	0.6%	1	6.3%

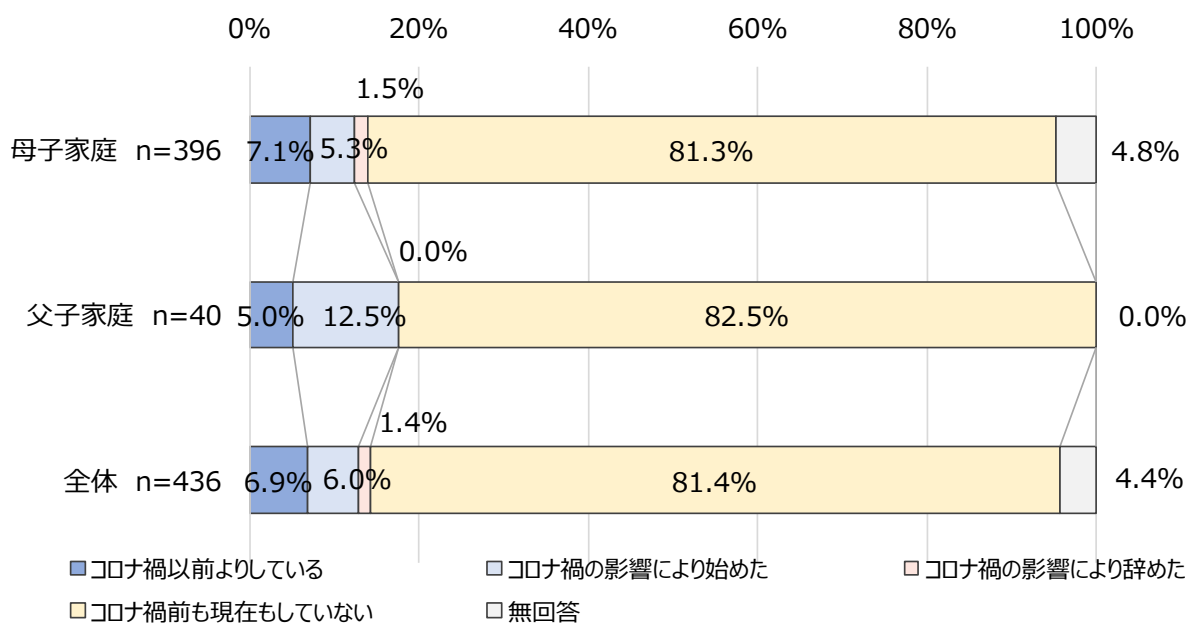
⑨ 副業の有無（問 16）

現在収入をとまなう仕事をしていると回答した人に対して、副業について聞いたところ、「コロナ禍前も現在もしていない」が 81.4%（355 人）を占めた。母子・父子家庭別にみると、「コロナ禍の影響により始めた」と回答した人が、母子家庭では 5.3%だったのに対し、父子家庭では 12.5%と高かった。

図表 59



図表 60



副業（問 16）と年収（問 28）の関係について見ると、「コロナ禍の影響により（副業を）始めた」グループの年収は「200～300万円未満」の割合が最も高く、38.5%であった。

図表 61

	436	コロナ禍以前よりしている		コロナ禍の影響により始めた		コロナ禍の影響により辞めた		コロナ禍前も現在もしていない		無回答	
		30	6.9%	26	6.0%	6	1.4%	355	81.4%	19	4.4%
100万円未満	27	2	6.7%	1	3.8%	1	16.7%	22	6.2%	1	5.3%
100～200万円未満	97	4	13.3%	8	30.8%	2	33.3%	77	21.7%	6	31.6%
200～300万円未満	128	11	36.7%	10	38.5%	2	33.3%	100	28.2%	5	26.3%
300～400万円未満	85	4	13.3%	3	11.5%	1	16.7%	75	21.1%	2	10.5%
400～500万円未満	46	4	13.3%	2	7.7%		0.0%	38	10.7%	2	10.5%
500～1000万円未満	22	5	16.7%		0.0%		0.0%	17	4.8%		0.0%
1000万円以上	2		0.0%		0.0%		0.0%	2	0.6%		0.0%
無回答	29		0.0%	2	7.7%		0.0%	24	6.8%	3	15.8%

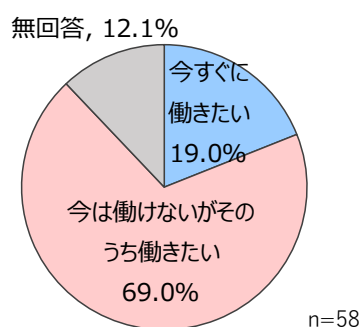
⑩ 就業意欲の有無（問 17、問 17-(2)・複数回答、問 17-(3)・複数回答）

現在収入をとまなう仕事をしていないと回答した人の、就業意欲については「今は働けないがそのうち働きたい」が 69.0%（40 人）をしめ、「今すぐに働きたい」は 19.0%（11 人）にとどまった。

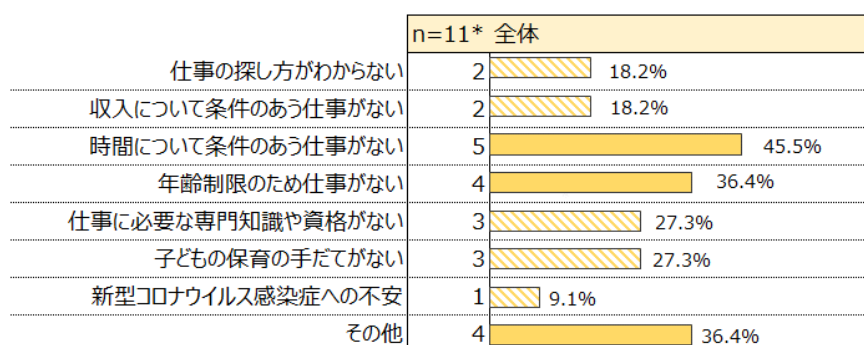
また「働く必要がない」と回答した人は 0 人であった。

「今すぐに働きたい」と回答した人が働いていない理由は、「時間について条件のあう仕事がない」が 45.5 %（5 人）で最も多く、次に「年齢制限のため仕事がない」36.4%（4 人）、「その他」36.4%（4 人）、「仕事に必要な専門知識や資格がない」「子どもの保育の手だてがない」が 27.3%（3 人）で続いた。

図表 62



図表 63（複数回答）

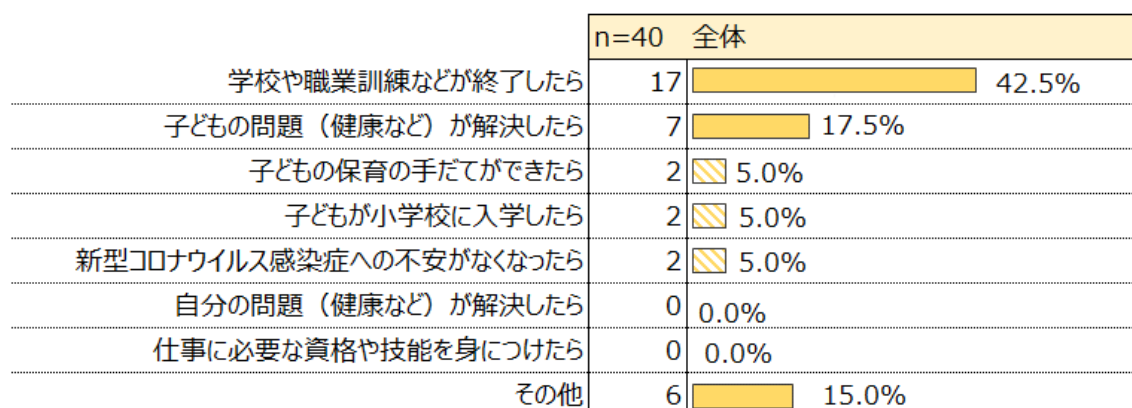


「今は働けないがそのうち働きたい」と回答した人に、どのような状況になれば働けるようになるか聞いたところ、学校や職業訓練などが終了したら」が 42.5%（17 人）で最も多く、次に「子どもの問題（健康など）が解決したら」17.5%（7 人）、「その他」15.0%（6 人）が続いた。

「その他」を選んだ 6 人のうち半数が、働けるようになる状況として、病気の治療をあげた。

※小サンプルのため、参考値。

図表 64（複数回答）



⑪ 仕事と子育ての両立（問 18・複数回答）

また、「今すぐ働きたい」「今は働けないがそのうち働きたい」と回答した人が、仕事と子育てを両立するために大切に思っている事として重視しているのは、「十分な収入が得られる」が 56.9%（29 人）で一番多く、次に「休暇が取りやすい」35.3%（18 人）、「就業時間に融通がきく」が 33.3%（17 人）と続いた。優先順位別にみても、どの順位でも「十分な収入が得られる」が最も多かった。

1 番目に重視する事で、「十分な収入が得られる」の次に多かったのは、「休暇が取りやすい」「土日に休める」「就業時間に融通がきく」で、ともに 13.7%（7 人）であった。

図表 65（複数回答）

